

環境経営レポート 2024

SGモータース株式会社

第15版

対象期間：2023.04.01～2024.03.31

発行年月日：2024.06.30



エコアクション21
認証番号 0007737



目次

SGモータース会社概要	2
SGモータース事業概要	3
環境経営方針	4
エコアクション21推進体制	5
環境経営目標	6
二酸化炭素排出量の推移	7
環境経営計画	8
環境経営計画の取組結果と評価【営業店・製造工場】	9
取組結果と評価（母店管轄工場・本社）	10
事業活動にかかわる主な環境関連法令	12
代表者による全体評価と見直し・指示	13

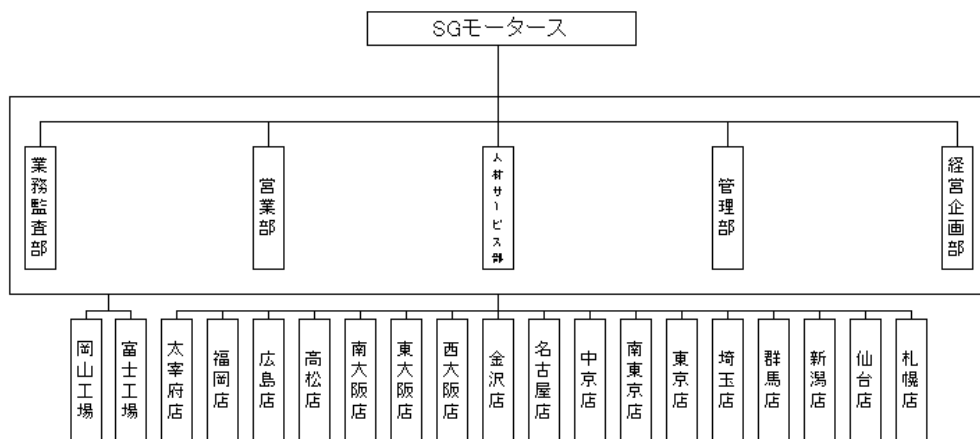




SGモータース会社概要

2024年 3月31日現在

商号	SGモータース株式会社
設立日	昭和55年 5月 1日
事業内容	各種自動車の整備及び修理、各種自動車の販売及び賃貸、損害保険代理業、自動車ボディ架装及び修理、自動車部品に関する販売
本社所在地	東京都江東区新砂1丁目8番2号 SGHビル新砂Ⅱ3F
代表取締役社長	羽田 斎
資本金	1,000 万円
従業員数	780人(2024年 3月31日現在)
事業所数	本社・17営業店・5整備工場・2製造工場 https://www.sg-motors.co.jp/



本社 東京都江東区新砂1丁目8番2号

■ 営業店・整備工場

札幌店	北海道札幌市白石区流通センター5丁目573-5
仙台店	宮城県仙台市宮城野区福田町南1丁目9番3号
新潟店	新潟県新潟市西区善久字川中669番地1
群馬店	群馬県佐波郡玉村町大字川井25-4
埼玉店	埼玉県白岡市篠津914-3
新座工場	埼玉県新座市池田2丁目1番5号
東京店	千葉県市川市二俣新町22番5号
新砂工場	東京都江東区新砂2丁目2番11号
高井戸工場	東京都杉並区高井戸西1丁目1番29号
南東京店	神奈川県川崎市川崎区桜本2丁目32番1号
大井工場	東京都品川区八潮3丁目2番43号
三多摩工場	東京都昭島市拝島町4丁目8番1号
中京店	愛知県小牧市三ツ瀬東阿原1447-1
名古屋店	愛知県名古屋市中区砂美町82番地

金沢店	石川県金沢市木越町180番地
西大阪店	兵庫県尼崎市大高洲町5-6
東大阪店	大阪府東大阪市東鴻池町1丁目6番48号
南大阪店	大阪府泉大津市板原町4丁目19番29号
高松店	香川県高松市牟礼町牟礼字久通3720番438
広島店	広島県広島市南区出島2丁目10-31
福岡店	福岡県福岡市東区多の津2丁目10番2号
太宰府店	福岡県太宰府市水城2丁目18-23

■ 製造工場

富士工場	静岡県富士市中丸9番地の2
岡山工場	岡山県勝田郡勝央町黒坂897



SGモータース事業概要



整備(点検・車検・整備)

SGホールディングスグループを含む全てのお客様からお預かりする大型車両から軽自動車など、全メーカーの約70,000台に及ぶ車両の点検・整備・車検を、全国22ヶ所の自社整備工場と約270ヶ所の提携整備ネットワークを構築し、サポート体制の拡大、品質向上に努めています。



新車・中古車販売

小型車両から大型車両などの貨物自動車のほか、自家用車や軽自動車など全メーカー全車種の販売を行っています。同じく中古車両の販売についても、当社のネットワークによりお客さまの要望された車両を素早く提供することが出来ます。またご要望があれば中古車両の再架装も可能です。



ボディ製造

ボディ製造工場では、小型車から大型車までお客さまのご要望に応じたボディ架装を行っています。汎用性の高いお勧めモデルから、冷凍冷蔵庫を搭載した3温度帯輸送ボディ、完全オリジナル仕様まで幅広いボディをお届けします。



フォークリフト・特装車

フォークリフトなどの荷役車の扱いも可能です。各工場では資格を有した専門の整備員を配置し、定期点検やメンテナンスを行うことが出来るため、迅速な対応によりお客さまの機動力を更に高めます。また、トレーラなど特装車両についても指定サービス工場として取扱が可能です。



開発

製造部には新商品や新技術の開発を行う開発部門があります。お客さまのご要望にあわせたボディの開発を手がけるほか、材料試験や温度検証など様々な視点での評価・検証を行い、安全と安心を提供します。



緊急時のサポート

お出かけ時や業務途上で発生したお車の故障や事故の際には、24時間365日全国どこへでも1時間以内に駆けつけることが可能なレッカーサービス「ファーストコール24」を展開しています。その他、車両に関する自賠責保険や各種任意保険等にも対応しています。



環境経営方針

〈基本理念〉

当社は、自動車整備事業を営み、お客様に「安全」、「安心」を提供することをモットーとして、自動車業界の「雄」となるべく、更なる企業の拡大に努めていくと共に、業界の模範となる活動を進めて行きます。その重要課題として、環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、SDGsの推進を視野に自主的、積極的に行動します。そのため、全従業員一致団結して次の基本指針を実践するために、責任をもって行動します。

〈基本指針〉

1. エコアクション21に基づく環境経営システムに取り組み、環境関連の法令、条例等の規制事項を遵守するとともに、地域・業界・顧客の満足と信頼の獲得を図ります。
また、グリーン購入や地域清掃などの環境活動についても計画的に実施します。
2. 取り組むべき事項として次の重点項目を設定し、環境目標と活動計画を定め、必要に応じて見直すことによって、環境経営及び環境負荷の継続的改善を図ります。
 - ①電力や燃料使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減を図ります。
 - ②廃棄物の分別などにより発生抑制とリサイクルを推進します。
 - ③事務所や工場での節水により、用水使用量の削減を図ります。
 - ④使用する塗料や溶剤などの効率的使用により、化学物質の削減を図ります。
3. 自社が行う活動やサービスの提供に関して、部材リサイクル率の向上及びボディ軽量化への検討などを通じ環境配慮を行い、SGHグループ及び顧客の環境経営に貢献します。
4. 全従業員に、この環境経営方針を周知し公表します。

2022年 2月 1日改定

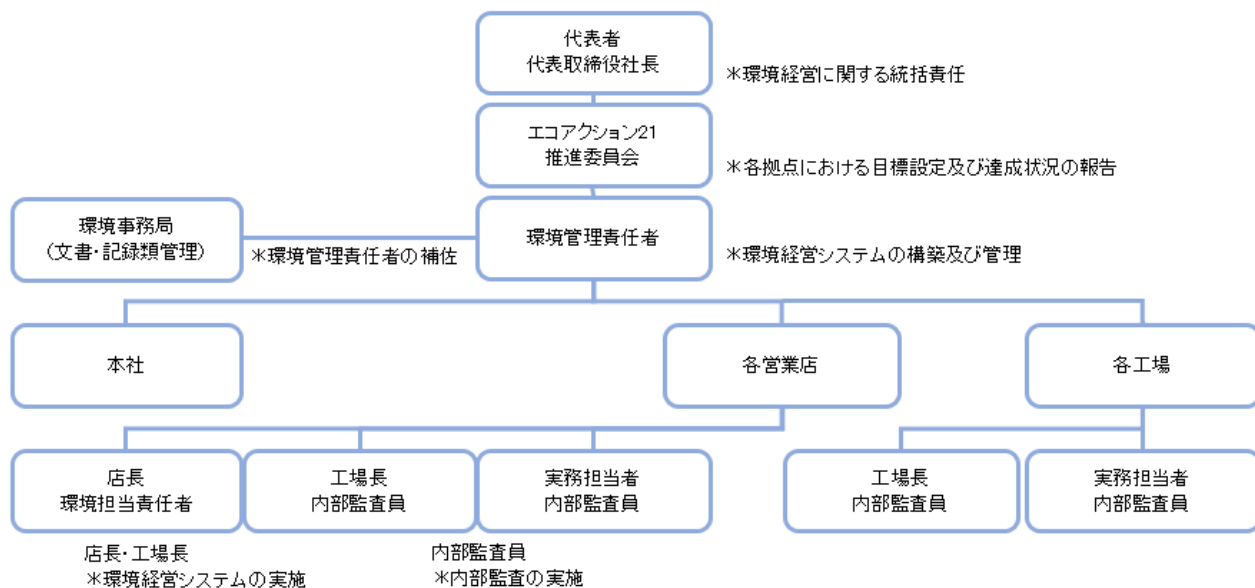
SGモータース株式会社
代表取締役社長 羽田 斎



エコアクション21推進体制

当社は本社を中心に北海道から九州まで17ヶ所の営業店及び5ヶ所の整備工場、2ヶ所の製造工場で営業展開しており、全国体制でエコアクション21を推進してまいります。

各営業店では店長を環境担当責任者とし、整備部門の責任者である工場長をエコアクション21の内部監査員として活動します。



環境管理責任者：中野 洋平
担 当 者：表 俊希 (連絡先：TEL03-3699-5670)

2023年度認証取得範囲

(1) 登録組織名 SG モーターズ株式会社

2024年 3月31日現在

(2) 2023年度認証取得店、工場 (従業員合計 : 780名)

	本社	札幌店	仙台店	新潟店	群馬店	埼玉店	新座工場
従業員	113名	22名	49名	19名	23名	58名	3名
延べ床面積	674.3㎡	1426.7㎡	2285.3㎡	1324.1㎡	1233.0㎡	1740.3㎡	229.8㎡

	東京店	新砂工場	高井戸工場	南東京店	大井工場	三多摩工場	中京店	名古屋店
従業員	66名	8名	4名	16名	15名	8名	35名	20名
延べ床面積	2555.4㎡	334.0㎡	350.3㎡	320.5㎡	198.1㎡	196㎡	2574.3㎡	597.6㎡

	金沢店	西大阪店	東大阪店	南大阪店	高松店	広島店	福岡店	太宰府店
従業員	16名	42名	46名	26名	24名	18名	33名	22名
延べ床面積	674.8㎡	3,313.7㎡	1558.3㎡	1546.0㎡	1973.7㎡	576.0㎡	953.7㎡	918.9㎡

	富士工場	岡山工場
従業員	60名	34名
延べ床面積	4929.1㎡	5842.0㎡

(3) 適用業務範囲

自動車整備業・トラック車体製造業・新車販売業・中古車販売業・損害保険代理業



環境経営目標

エコアクション21 取得に向けた取り組みを2010年度から開始しました。

目標設定のための基準値は、2017年度の実績をベースに設定しています。2018年度は2017年度実績の1%減とし、2019年度以降は毎年1%を上乗せした目標基準値(売上高単位)を設定しました。2023年度は、6%減を目標基準値(売上高単位)として活動に取り組みました。一部基準年度を見直した営業店、製造工場は下記記載の表の通り。

営業店、製造工場	電力使用量	燃料使用量	産業廃棄物量	一般廃棄物量	用水使用量	化学物質使用量
群馬店			2022年度 -1%			
中京店				2022年度 -1%		
金沢店	2021年度 -2%				2021年度 -2%	
西大阪店	2021年度 -2%					
福岡店			2022年度 -1%			
太宰府店			2022年度 -1%		2021年度 -2%	
富士工場					2021年度 -2%	

※緑色セルは2023年度に基準値を見直し

■目標値及び実績値(中長期目標として2018年度以降2025年まで同様に毎年1%ずつ上乗せする)

環境経営目標	削減目標値 (基準2017年度実績比)		基準年度	2022年度		2023年度		単位	達成 評価	
			2017年度							
	実績値	-5%	実績値	-6%	実績値					
二酸化炭素排出量の削減	電力		使用量	3,677.60	3,493.70	2,844.50	3,456.90	2,867.40	千kWh	○
			二酸化炭素排出量	1,829.50	1,738.00	1,053.80	1,719.70	627.30	t-CO2	○
	燃料	ガソリン	使用量	228.6	217.2	133	214.9	130.5	kl	○
			二酸化炭素排出量	530	503.5	308.6	498.2	302.7	t-CO2	○
		軽油	使用量	142.2	135.1	112.5	133.7	107.6	kl	○
			二酸化炭素排出量	374.8	356.1	290.3	352.3	277.7	t-CO2	○
		総排出量		2,734.30	2,597.60	1,652.70	2,570.20	1,207.70	t-CO2	○
	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物		74.8	71.6	58.8	70.3	68.0	t/月	○
一般廃棄物		13.7	13	11.2	12.9	10.6	t/月	○		
用水使用量の削減	用水使用量		31.3	29.7	22.5	29.4	23.2	千㎡	○	
	雨水利用の導入		一部利用	雨水利用	一部利用	雨水利用	一部利用	-	○	
化学物質使用量の削減			6.8	6.5	2.8	6.4	3.1	t	○	
グリーン購入の推進	エコ商品の使用		継続	継続	継続	継続	継続	-	○	
環境活動の推進	スチレンパネルの使用		維持	維持	維持	維持	維持	-	○	
	清掃活動		2	2	0-2	2	0-2	回/年	○	

電力の排出係数 kg-CO2/kWh : 2021年1月7日環境省公表の各拠点が所在する電力会社の数値

【北海道電力】 0.601 【東北電力】 0.0 【東京電力エナジーパートナー】 0.0 【東京電力エナジーパートナー】 0.442 【中部電力ミライズ】 0.426
【北陸電力】 0.0 【関西電力】 0.318 【中国電力】 0.585 【四国電力】 0.411 【九州電力】 0.371

2017年度の二酸化炭素排出量の実績値は、その年の電力排出係数を使用

北陸電力、東北電力、東京電力エナジーパートナーは、再生可能エネルギーを契約しているためメニューAを使用

※ 母店管轄の新座工場、新砂工場、高井戸工場、大井工場、三多摩工場については、佐川急便内の一角で操業しており、個別数値は把握できないため、目標数値設定はできず、定性的取り組みの評価にとどめている。

※ 電力起源の二酸化炭素は営業店、工場の合計である。



二酸化炭素排出量の推移

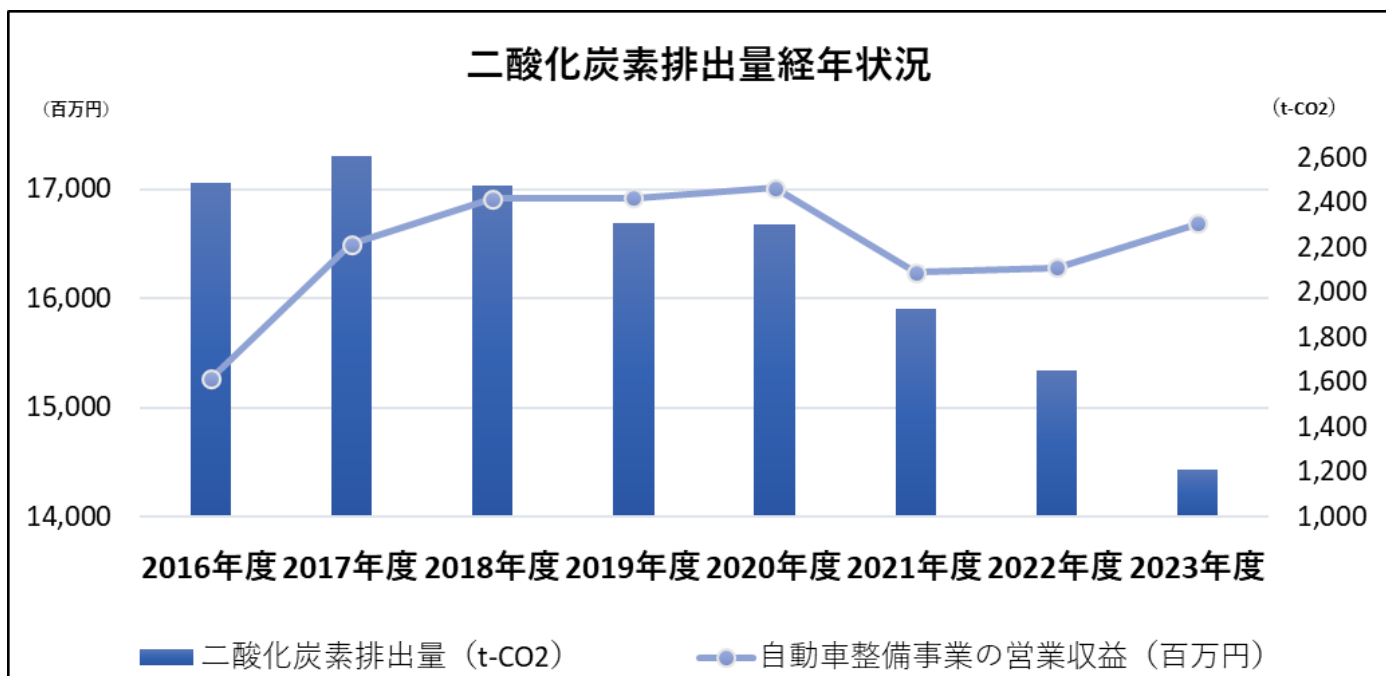
過去8年間の二酸化炭素排出量および自動車整備事業営業収益の推移を表しました。
二酸化炭素排出量は、2017年度に売上高増加に伴い一時的に増加しましたが、その後は継続して減少しました。売上高当たりの二酸化炭素排出量は、2016年度から7年連続で削減しています。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量(t-CO2)※	2,485	2,606	2,473	2,308	2,302	1,925	1,653	1,208
自動車整備事業営業収益(百万円)	15,263	16,496	16,915	16,918	17,009	16,237	16,280	16,686
(参考) 二酸化炭素排出量(t) ÷ 自動車整備事業営業収益(百万円)	0.163	0.158	0.146	0.136	0.135	0.119	0.102	0.072

※電力・ガソリン・軽油のみ集計

※2016年度から2020年度の二酸化炭素排出量は、2020年1月7日環境省公表の各拠点が所在する電力会社の数値を使用

2021年度、2022年度の二酸化炭素排出量は、2021年1月7日環境省公表の各拠点が所在する電力会社の数値を使用





環境経営計画

環境経営目標を達成するために、以下のとおり環境経営計画を定めております。次年度も以下の環境経営計画に基づいて活動していきます。

環境経営目標		取組事項
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	エアコン室温管理の徹底
		事務所、工場の照明管理の徹底
		事務機・車両整備機器等の節電
		離席中のパソコン画面OFF
	燃料使用量の削減	車両メンテナンスの徹底
		エコドライブの徹底
		低燃費車の導入検討
廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量の削減	廃棄物のリサイクル向上
		社内廃棄物の分別徹底
		マイコップ、マイ箸の推進
		コピー用紙の削減
用水使用量削減	用水使用量の削減	散水・洗車節水の徹底
		手洗い時の節水の徹底
		漏水点検の実施
化学物質使用量削減	化学物質使用量の削減	塗料缶、保管容器の点検
		スプレーガンの吐出量の適正化
		塗料の必要量確認、効率的使用
環境活動の推進	グリーン購入の拡大	エコマーク付事務用品の選択的使用
	水質保全活動	工場で使用する洗剤の適正使用・削減
	製品及びサービスに関する環境配慮	スチレンパネルの使用
	コミュニケーションと地域貢献活動	部門間のコミュニケーションの推進
		関係企業とのコミュニケーションの推進
		地域活動への積極的参加



環境経営計画の取組結果と評価【営業店・製造工場】

環 境 経 営 目 標		取 組 事 項	月別の計画／実績													集計
			■評価基準 5:ほぼ100%取組ができた 4:75%程度の取組結果であった 3:50%程度の取組結果であった 2:ほとんど取組めなかった 1:全く取組めなかった													
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 基準年比 6.0 %減 ※金沢店、西大阪店は基準年度2021年度の2%減	エアコン室温管理の徹底	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
		事務所、工場の照明管理の徹底	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		事務機・車両整備機器等の節電	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		離席中のパソコン画面OFF	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		計画(kwh)	5,640.8	4,927.7	4,289.9	4,643.8	5,457.9	4,652.4	4,696.4	5,228.0	6,083.2	7,983.6	6,898.8	4,437.6		
		実績(kwh)	4,220.6	3,894.6	4,006.2	4,386.4	5,045.2	4,617.9	4,263.1	4,518.7	5,593.2	6,633.3	6,161.6	4,815.4		
	売上高100万円単位	計画比	-25.2%	-21.0%	-6.6%	-5.5%	-7.6%	-0.7%	-9.2%	-13.6%	-8.1%	-16.9%	-10.7%	8.5%	-10.4%	
	取組期間中の全体評価		各拠点による、残業時間の抑制および使用していないエリアのエアコン停止や消灯の管理を実施した結果が、年間電気使用量の削減に繋がった。													
	燃料使用量の削減 基準年比 6.0 %減 ※金沢店、太宰府店は基準年度2022年度の1%減	車両のメンテの徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	
		エコドライブの徹底	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
低燃費車の導入検討		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4			
計画(ℓ)		368.0	328.6	345.9	368.1	399.9	344.8	311.8	323.8	331.5	360.6	320.5	243.9			
実績(ℓ)		207.7	189.3	209.4	213.5	213.6	201.9	194.1	207.4	253.5	211.3	189.6	212.7			
計画比		-43.5%	-42.4%	-39.5%	-42.0%	-46.6%	-41.4%	-37.7%	-36.0%	-23.5%	-41.4%	-40.8%	-12.8%			
軽油使用量 売上高100万円単位	計画(ℓ)	256.0	225.3	223.2	218.0	248.1	253.6	228.4	218.2	359.5	258.5	231.5	181.1	2,901.4		
実績(ℓ)	200.8	180.8	180.3	199.4	218.7	177.3	204.5	185.2	218.2	191.4	213.7	192.5	2,362.8			
計画比	-21.6%	-19.8%	-19.2%	-8.6%	-11.8%	-30.1%	-10.5%	-15.1%	-39.3%	-26.0%	-7.7%	6.3%	-18.6%			
取組期間中の全体評価		ハイブリッド車含むガソリン車台数減によりガソリン、軽油の年間使用量の削減が図れた。														
廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量の削減 基準年比 6.0 %減 ※金沢店、太宰府店、福岡店、太宰府店は基準年度2022年度の1%減	廃棄物のリサイクル向上	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
		社内廃棄物の分別徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		マイコップ、マイ箸の推進	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		コピー用紙の削減	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		計画(kg)	911.2	1,082.9	1,117.7	883.4	1,457.7	1,209.6	1,118.7	987.2	1,640.1	1,589.0	904.5	1,177.0		
		実績(kg)	830.1	949.8	1,772.0	782.3	1,146.9	951.9	951.9	1,290.9	1,539.9	1,619.8	1,201.5	1,554.7		
	売上高100万円単位	計画比	-8.9%	-12.3%	58.5%	-11.4%	-21.3%	-21.3%	-14.9%	30.8%	-6.1%	1.9%	32.8%	32.1%	3.6%	
	一般廃棄物量 ※中京店は基準年度2022年度の1%減	計画(kg)	347.9	302.2	315.3	288.3	290.4	289.1	287.0	303.0	290.7	290.3	264.0	234.0	3,502.2	
	実績(kg)	233.8	227.0	244.3	225.3	219.4	212.4	244.0	242.0	252.0	242.0	216.1	244.8	2,803.1		
	計画比	-32.8%	-24.9%	-22.5%	-21.9%	-24.4%	-26.5%	-15.0%	-20.1%	-13.3%	-16.6%	-18.2%	4.6%	-20.0%		
取組期間中の全体評価		産業廃棄物排出量は、部品洗浄液の廃液や油水分離槽清掃時の汚泥の排出量が増えたため、年間を通して削減が図れなかった。一般廃棄物排出量は、各拠点による分別などの徹底により年間排出量の削減が図れた。														
用水使用量の削減	用水使用量の削減 基準年比 6.0 %減 ※金沢店、太宰府店、富士工場は基準年度2021年度の2%減	散水・洗車節水の徹底	4	4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	
		手洗い時の節水の徹底	5	5	4	5	5	5	5	5	4	4	4	4		
		漏水点検の実施	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		計画(m)	37.3	44.1	37.1	38.8	44.6	37.0	40.1	37.4	39.3	47.4	34.8	29.1		
		実績(m)	24.2	25.5	28.0	28.9	28.1	28.3	28.2	30.0	37.3	37.1	29.5	27.2		
		計画比	-35.1%	-42.1%	-24.4%	-25.5%	-36.9%	-23.5%	-29.7%	-19.7%	-5.2%	-21.8%	-15.3%	-6.5%		
取組期間中の全体評価		各拠点による、手洗い時や洗車時の節水の徹底および漏水点検取り組みなどにより、年間用水使用量の削減に繋がった。														
化学物質使用量の削減	化学物質使用量の削減 基準年比 6.0 %減 ※金沢店、太宰府店、富士工場は基準年度2021年度の2%減	塗料缶、保管容器の点検	4.6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	
		スプレーガンの吐出量の適正化	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
		塗料の必要量確認、効率的な使用	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		計画(kg)	7.2	9.2	7.4	6.4	6.7	5.3	9.5	8.1	6.6	6.4	7.7	5.5		
		実績(kg)	3.0	3.0	2.4	3.2	2.5	3.8	2.7	2.4	3.6	4.9	3.8	1.9		
		計画比	-57.8%	-67.4%	-67.3%	-49.5%	-63.3%	-28.5%	-71.5%	-70.0%	-45.9%	-22.8%	-50.0%	-66.3%		
取組期間中の全体評価		各拠点による、水性塗料の運用や塗料の適正な管理を徹底し、効率的な使用を実施した結果が、年間使用量の削減に繋がった。														
環境活動の推進	グリーン購入の拡大 水質保全活動 製品及びサービスに関する環境配慮 部門間のコミュニケーションの推進 コミュニケーションと地域貢献活動	エコマーク付事務用品の選択的使用	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	
		工場で使用する洗剤の適正使用・削減	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		ステレンパネルの使用	4	4	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3		
		部門間のコミュニケーションの推進	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		関係企業とのコミュニケーションの推進	3	4	3	3	4	4	3	4	4	4	4	4		
		地域活動への積極的参加	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		

※評価点は営業店・製造工場の平均値

■全体評価

電力使用量、燃料(ガソリン・軽油)使用量、一般廃棄物排出量、用水使用量、化学物質使用量に関しては、各拠点の全従業員が一丸となり取り組んだ結果が、削減に繋がっている。昨年未達成だった産業廃棄物排出量に関しては、工場の水質改善施策により部品洗浄液の廃液や油水分離槽清掃時の汚泥の排出量が増えたため未達成となったが、廃棄物の分別を徹底し、従業員一人一人が環境に対する意識を持ち、目標達成に取り組んでいく。



取組結果と評価【母店管轄工場・本社】

■評価基準：5:ほぼ100%取組ができた 4:75%程度の取組結果であった 3:50%程度の取組結果であった
2:ほとんど取り組めなかった 1:全く取り組めなかった -:該当なし

【新座工場】

環境経営目標	取組事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
電力使用量の削減	エアコン室温管理の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	事務所、工場の照明管理の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
燃料使用量の削減	車両メンテナンスの徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	エコドライブの徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
廃棄物排出量の削減	リサイクル率の向上	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5
	社内廃棄物の分別徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	コピー用紙の削減	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
用水使用量の削減	洗車節水の徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	手洗い時の節水の徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
水質保全活動	工場で使用する洗剤の適正使用・削減	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
コミュニケーションと地域貢献活動	部門間のコミュニケーションの推進	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	地域活動への積極的参加	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

【新砂工場】

環境経営目標	取組事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
電力使用量の削減	エアコン室温管理の徹底	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4
	事務所、工場の照明管理の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
燃料使用量の削減	車両メンテナンスの徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	エコドライブの徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
廃棄物排出量の削減	リサイクル率の向上	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	社内廃棄物の分別徹底	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	コピー用紙の削減	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
用水使用量の削減	洗車節水の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	手洗い時の節水の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
水質保全活動	工場で使用する洗剤の適正使用・削減	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
コミュニケーションと地域貢献活動	部門間のコミュニケーションの推進	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2
	地域活動への積極的参加	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

【高井戸工場】

環境経営目標	取組事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
電力使用量の削減	エアコン室温管理の徹底	4	4	3	2	3	3	3	4	4	4	3	4	4
	事務所、工場の照明管理の徹底	4	4	4	4	4	4	3	4	4	5	4	4	
燃料使用量の削減	車両メンテナンスの徹底	4	4	5	4	4	3	4	4	3	3	3	4	4
	エコドライブの徹底	4	4	4	3	3	3	3	4	4	4	5	5	
廃棄物排出量の削減	リサイクル率の向上	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	社内廃棄物の分別徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	コピー用紙の削減	4	4	3	3	4	4	4	4	3	3	4	4	
用水使用量の削減	洗車節水の徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	手洗い時の節水の徹底	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
水質保全活動	工場で使用する洗剤の適正使用・削減	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
コミュニケーションと地域貢献活動	部門間のコミュニケーションの推進	4	3	3	3	2	2	2	1	2	1	2	2	2
	地域活動への積極的参加	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

【大井工場】

環境経営目標	取組事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
電力使用量の削減	エアコン室温管理の徹底	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	事務所、工場の照明管理の徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
燃料使用量の削減	車両メンテナンスの徹底	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	エコドライブの徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
廃棄物排出量の削減	リサイクル率の向上	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5
	社内廃棄物の分別徹底	5	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	
	コピー用紙の削減	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
用水使用量の削減	洗車節水の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	手洗い時の節水の徹底	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
水質保全活動	工場で使用する洗剤の適正使用・削減	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
コミュニケーションと地域貢献活動	部門間のコミュニケーションの推進	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	地域活動への積極的参加	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	



取組結果と評価【母店管轄工場・本社】

■評価基準：5:ほぼ100%取組ができた 4:75%程度の取組結果であった 3:50%程度の取組結果であった
2:ほとんど取組めなかった 1:全く取組めなかった -:該当なし

【三多摩工場】

環境経営目標	取組事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
電力使用量の削減	エアコン室温管理の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	事務所、工場の照明管理の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
燃料使用量の削減	車両メンテナンスの徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	エコドライブの徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
廃棄物排出量の削減	リサイクル率の向上	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	社内廃棄物の分別徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	コピー用紙の削減	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
用水使用量の削減	洗車節水の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	手洗い時の節水の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
水質保全活動	工場で使用する洗剤の適正使用・削減	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
コミュニケーションと地域貢献活動	部門間のコミュニケーションの推進	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	地域活動への積極的参加	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

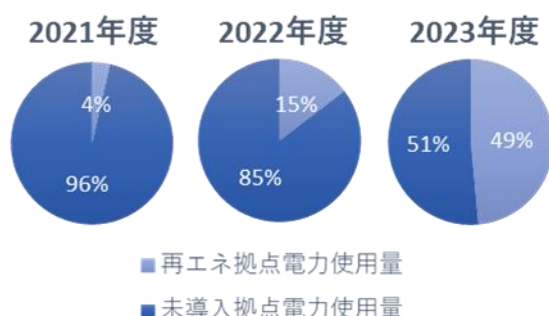
【本社】

環境経営目標	取組事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
電力使用量の削減	エアコン室温管理の徹底	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	事務所、更衣室の照明管理の徹底	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
燃料使用量の削減	車両メンテナンスの徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	エコドライブの徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	EV車の導入検討	-	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
廃棄物排出量の削減	社内廃棄物の分別徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	コピー用紙の削減	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
用水使用量の削減	手洗い時の節水の徹底	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
製品及びサービスに関する環境配慮	部材リサイクル率の向上	2	2	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	3
	ボディの軽量化	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	
コミュニケーションと地域貢献活動	地域活動への積極的参加	-	-	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-

■再エネ導入状況

年度	再エネ拠点数	未導入拠点数
2021年度	2	23
2022年度	4	21
2023年度	8	17

年度	再エネ拠点電力使用量	未導入拠点電力使用量
2021年度	107,284	2,892,216
2022年度	416,719	2,427,781
2023年度	1,391,444	1,475,950





事業活動にかかわる主な環境関連法令

■当事業にかかわる主な環境関連法令

事業活動に関して対象となる環境関連法令及び施設等は次のとおりで、随時インターネットなどで改正状況をチェックし、年1回の遵守評価を実施しています。

法令名称	対象施設・作業
廃棄物処理法	一廃・産廃・特管産廃の排出
自動車NOx・PM法	適合車等の標章の表示
化管法第5条第2項(PRTR法)	吹き付け塗装施設
大気汚染防止法 環境保全条例	吹き付け塗装ブース
水質汚濁防止法	吹き付け塗装施設
下水道条例	車両洗浄施設
騒音規制法 振動規制法	空気圧縮機
資源有効利用促進法	廃棄時に法定の回収ルートで処置
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンの廃棄時
小型家電リサイクル法	FAX、携帯電話、ビデオカメラ、パソコン、プリンターの廃棄等
自動車リサイクル法	新車購入時等、顧客自動車廃棄時
フロン排出抑制法	整備自動車 業務用エアコン室外機
消防法	屋内消火栓・火災報知機・消火器・化学消火器
市火災予防条例	油圧機作動油、同廃油、有機溶剤 消防署への届出

■環境法令の遵守評価

上記、当事業による主要な環境関連法規などの違反はありませんでした。
また関係当局からの違反などの指摘は過去5年間なく、訴訟などありませんでした。



代表者による全体評価と見直し・指示

“エコアクション21”の取り組みを開始して、今年で14年目を迎えます。2024年の中間審査時に対象となる2023年度は、認証を取得している全25拠点で目標達成に向けて取り組みました。その結果、温室効果ガスの排出量は、2017年度比で56%削減となりました。4拠点（東京店、南東京店、埼玉店、富士工場）に再生可能エネルギーを導入したことが主な要因です。産業廃棄物排出量に関しては未達成となりました。これは工場の水質改善策として油水分離槽の清掃を実施したことによる汚泥排出量の増加が主な要因です。2024年度は、目標達成に向け取り組んでまいります。

2024年度の実施体制および目標と計画は現状のままとし、今後の“エコアクション21”の推進に向け、より積極的な環境に対する姿勢を示してまいります。

SGモータース株式会社

代表取締役社長 松井 康裕

 環境省 エコアクション21		
認証・登録証		
認証・登録番号	0007737	
認証・登録事業者	SGモータース株式会社 東京都江東区新砂1丁目6番2号 SGHビル新砂II3階	
事業活動	各種自動車の整備及び修理、各種自動車の販売及び賃貸、損害保険代理業、自動車ボディ塗装及び修理、自動車部品に関する販売	
対象事業所	本社、札幌店、仙台店、新潟店、群馬店、埼玉店、新座工場、東京店、新砂工場、高井戸工場、南東京店、大井工場、三多摩工場、中京店、名古屋店、金沢店、西大阪店、東大阪店、南大阪店、高松店、広島店、福岡店、太宰府店、富士工場、岡山工場	
認証・登録日	2011年11月22日	
更新・登録日	2023年11月22日	
有効期限	2025年11月21日	
上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2017年版」(環境省)の要求事項に適合していることを証します。		
一般財団法人 持続性推進機構		
理事長	森本英吉	